

女川町まちづくりワーキンググループ 瓦版

創刊号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

女川町まちづくりワーキンググループが 始まりました！

このたび女川町では、復興まちづくり事業に町民の皆さまのご意見を広く取り入れるため、町民主体でまちづくりを考える「女川町まちづくりワーキンググループ」（以下「WG」）の取り組みをスタートしました。WGを通して検討された内容は、提言書としてまちづくり推進協議会へ提出されます。

どんなメンバーで構成されているの？

- ⇒ 女川町まちづくり推進協議会委員から推薦された人と公募で集まった人です。
- ・ 年齢や性別、職業は様々です。



WGでは具体的に何をやるの？

- ⇒ 復興のイメージを共有し、“どんなまちづくりを行いたいのか”、また“自分たちには何ができるのか”などについて、いくつかのグループに分かれて自由に意見交換を行います。

全体スケジュール

概ね3週間に1回のペースで開催します

計画

(H24 6~7月)
検討テーマの
グループ分け

検討

(H24 7~12月)
検討事項について
の話し合い

まとめ

(H25 1~3月)
提言の作成

※ このスケジュールは、あくまで一例です。提言書は、意見のとりまとめができ次第、随時提出していきます。

第1回 ワーキンググループ 開催概要

テーマ：女川の将来像(復興に必要な視点)について自分の言葉で伝える

- 日時：平成 24 年 6 月 24 日(日)
10:00~12:00
- 場所：魚市場事務所2階会議室
- 参加者：41 名

当日のプログラム

- 1 町長あいさつ
- 2 女川町まちづくり推進協議会
会長あいさつ
- 3 説明
- 4 グループワーク
- 5 まとめ

第1回WGでは、「復興に必要な視点」について、6つのグループに分かれてグループワークを行いました。

「女川町の復興には何が必要なのか」、「将来の女川町に何を残したいか」などについて自由に意見を出し合いました。

女川町の復興に対する町民の皆さんの熱く真剣な思いが集まり、どのグループも活発な意見交換となりました。

各グループの検討結果は、裏面をご参照ください。

グループワークの手順

STEP 1 ●自分の考えを整理し、発表する

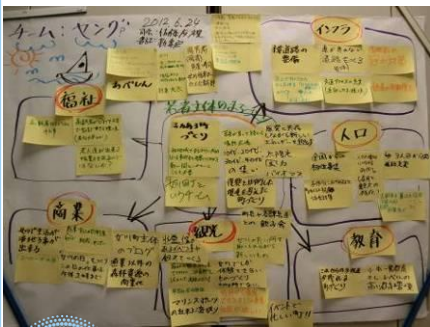
STEP 2 ●それぞれの意見を付箋に記入し、出された意見をグループ分けする

STEP 3 ●各グループで検討した結果を、全体に向けて発表する

各グループの検討結果

● チーム名は、復興に関する想いや、参加者の属性などにもとづいて、各グループで考えました。

チーム(ヤング)



キーワード 活力ある町づくり、インフラ、人口、教育、観光、商業

若者が主体となって、環境や新エネルギーにも配慮した活気のある町にしたい。

女川の良いところを活かしたい。

チーム(Action)



キーワード 実行、情報、産業、子ども、住まい

とにかく実行することが大事！町と町民とが一緒になって、まちづくりができるとうい。

チーム(ジバンチン課)



キーワード 働く、人口流出、環境、居住

インフラやライフラインの整備は即対応が必要。人口流出が防げるように働く場所や住宅地の整備をしたい。

チーム(ハッピー！おながわ)



キーワード 教育、生活福祉、観光、仕事

教育に関わることや生活・福祉面を充実させることに努め、そのあとで働く場や産業の整備ができるとうい。

チーム(金華桜)



キーワード 防災、産業、住環境、教育・福祉

町民が「戻って来たい」、「この町に住みたい」と思えるようなまちづくりをしたい。

チーム(ヤング&オールド)



キーワード 防災、産業、住環境、保健・福祉

理念を持ったまちづくりや産業づくりが必要になってくる。

観光や教育が連携して人材育成することも必要である。

第1回ワーキンググループのまとめ

第1回目のWGでは、将来像に対する視点が活発に出されました。その中で、「実行すること」の重要性は共通した認識でした。意見を実行しなければよい町にならないということが、参加者で共有できました。

今後のWGでは、個別の検討テーマ毎にグループ分けをして、検討を進めていくこととなります。

